

平成28年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン : 3つの挑戦 / 施策番号 1-2

局・課名： 健康福祉局・高齢施策推進課

事業名	緊急通報システム(一般会計)	事業費(千円)	平成26年度決算額	平成27年度予算額	平成28年度要求額
			26,509	25,673	43,163
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)
	ひとり暮らし高齢者等に緊急事態が発生した場合に迅速かつ適切な対応を行うことを目的に、高齢者宅に緊急通報装置を設置して消防との連携を図り、安心して暮らせる生活の確保を行う。		H ~ H		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)			
	高齢者宅に緊急通報装置を設置し、緊急ボタン(消防が通報先)や相談ボタン(委託業者が通報先)を押した際に、迅速かつ適切な対応を行う。 (対象者) ①おおむね65歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯の方。 ②昼間または夜間に独居(同居家族が就労・就学等のために日中または夜間の大半において不在)となるおおむね65歳以上の病弱等高齢者。 ※利用にあたっては、2名の近隣協力員を登録する必要があるが、協力員がない場合は、委託業者が自宅の鍵を預かることにより、協力員の役割を担う。 (委託内容) 装置の保守(取り付け、メンテナンス、取り外し)、24時間365日の健康相談、緊急時の警備員の出動等。	項目	27年度予算	28年度要求額	内容・積算等
		委託料	10,201	24,769	保守管理業務等委託料
		備品購入費	15,372	17,508	緊急通報システム機器
		その他	100	886	
		合計	25,673	43,163	
	【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)			
現在運用中のシステムは、緊急通報は「消防局」、相談通報は「委託業者」が受信・対応を行っているが、来年度から両方の通報を一本化して、救急対応が必要な案件については消防局に対応依頼し、その他の案件については委託業者が対応する「センター方式」の導入をめざし、その経費を要求する。	【経過(～27年度)】 利用可能な電話回線の拡充に伴い、新規利用者が増加	【28年度】 センター方式の導入	【今後予定(29年度～)】 事業の継続実施		
	その他 特記事項				
	みんなの審査会対象事業(平成25年度) 関連事業 緊急通報システム(介護保険事業特別会計)42,279千円				

整理番号： 11 - 3 - 0420